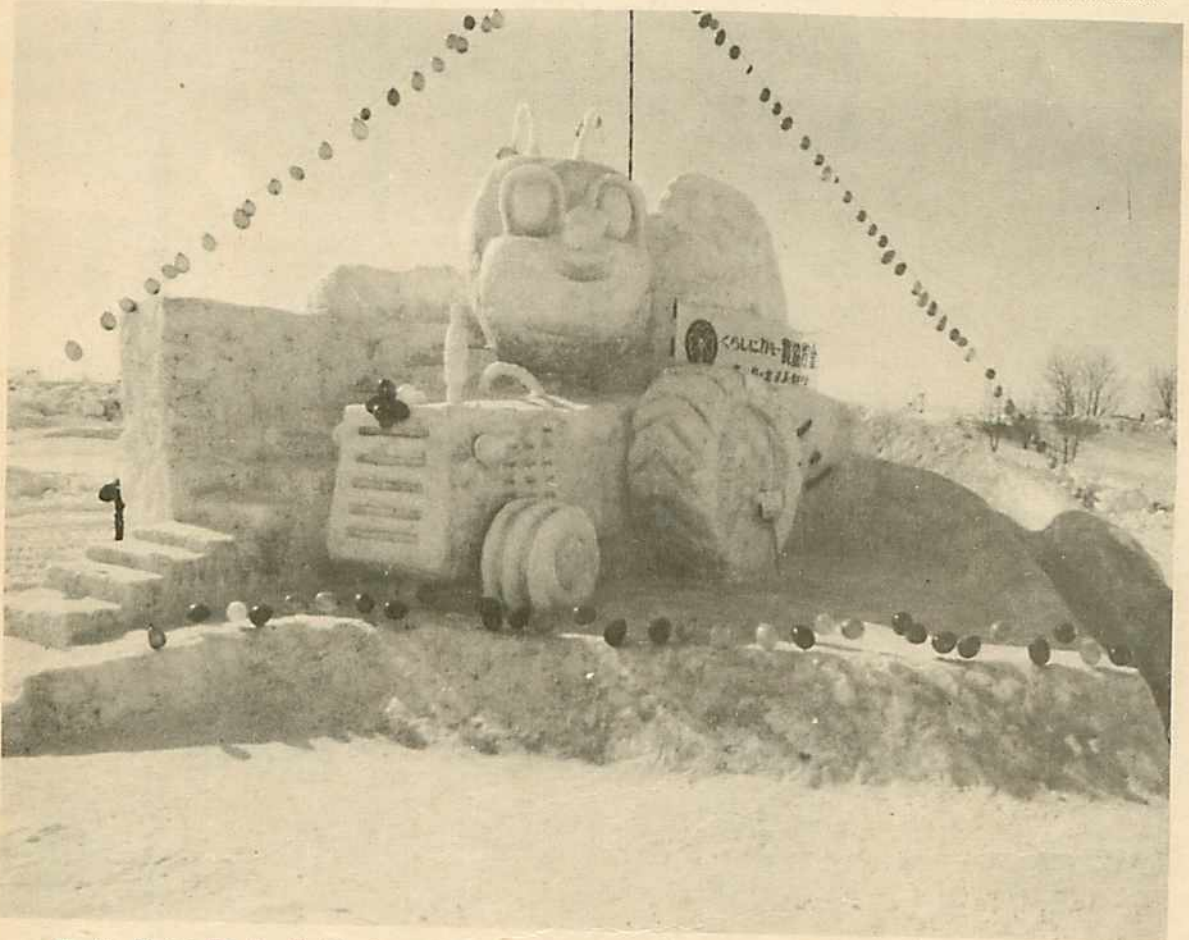


(1) 組合だより

組合だより

発行所 中標津農業協同組合・中標津町農業共済組合
発行 昭和52年3月1日 第39号 印刷・アート印刷株式会社



五十二年度の乳

価運動がいよいよ

大詰になりま

した。今年の農

畜物の価格及び賃金の相場を占う、
トップバッターとして登場するの
が乳価と云っても言い過ぎではな
いと思われず。過去の運動の結
果から見てもわかる様に今年も壁
の厚いのは予想されるし樂觀を許
さないものがあります。国は食糧
政策の目玉として第三次酪農近代
化計画を打ち上げ、上向きの姿勢
を示しながら具体的な施策が何等
出してこないし、又今一番問題と
なっている加工原料乳の限度数量
を超える全量を補給金の対象にせ
よと云う要求に対しても色よい返
事がない実情にあります。バラ色
と灰色の入り混った様な極めて不
透明な感じがします。これから本
番となる乳価運動の中で一番大事
なことは勿論乳価であるが国の酪
農政策に対する姿勢をただし本当
にバラ色なのか又反対に灰色なの
かを酪農家自身の目と耳でしっか
りと見究め今後に対処したいもの
である。

酪 対 情 報

昭和52年度
保証乳価等畜産物価格対策など協議

3月12日に農協大会開く

中標津農協酪対(竹下日吉会長)は、二月二十二日第七回役員会を開き、次の事項について協議した。

●昭和五十二年農林予算の決定概要について。

農林予算の総額

前年度予算額二四、一三〇億円

五十二年年度概算決定額二六、四〇〇億円

●加工原料乳限度枠対策

全国枠一三八万ト

(北海道一四万八千ト)

限度オーバー予測

全国一四万ト(一五万ト)

北海道九万ト(九万二千ト)

●昭和五十二年保証乳価等畜産物価格対策

①要求価格の決定 三月三日

②運動の実施方策

●ハガキ要請

●文書・電報・電話

●署名・請願

地域特別運動(地区の特色を配慮しながら地区の自主性において、本道の酪農、畜産の実情を地元および道内選出国議員を対象に積極的に運動する。

運動の日程

(1)第一次運動 二月上旬

主産地区代表者、道農協酪対本部代表者による政府との酪農協議

(2)第二次運動 二月下旬

各地区酪対会長、道連代表による政府および道内選出国議員ほかに対する要請

(3)第三次運動 二月下旬

道農協青年部、婦人部代表等による政府、与党幹部代表との懇談要請

(4)第四次運動 三月中旬

道農協酪・畜対代表者等による畜審委員、政府、政党、主要国会議員、乳業会社等に対する要請

(5)第五次運動 三月下旬

各地区農協代表者による全国農協代表者大会への参加および政府、政党、主要国会議員に対する要請

(6)第六次運動 三月下旬

道農協酪・畜対代表者、道連代表者等による全国農協組織特別運動

(7)第七次運動 三月下旬

各地区農協組合同長会長、道農協酪・畜対正副本部長、道連会長を中心とする全国農協組織特別運動

大会および集会

全道大会 三月十七日 全道農協組合同長会議をもって全道大会に代える。

根室地区大会 三月十五日予定

(前年と同じ形とする)

中標津農協大会

三月十二日(土)一時~三時半

中標津農協大会議室

中標津農協大会議室

中標津農協大会議室

中標津農協大会議室

中標津農協大会議室

中標津農協大会議室

中標津農協大会議室

中標津農協大会議室

中標津農協大会議室

中標津農協大会議室

中標津農協大会議室

中標津農協大会議室

中標津農協大会議室

中標津農協大会議室

中標津農協大会議室

中標津農協大会議室

中標津農協大会議室

中標津農協大会議室

中標津農協大会議室

中標津農協大会議室

中標津農協大会議室

中標津農協大会議室

中標津農協大会議室

系統くみあい配合飼料

人工乳利用キャンペーン実施中

2月→5月



●この期間にくみあいい人工乳をご利用の方には、製品二袋につき軍手一雙をプレゼントします。

●対象品目

ホワイトミルフード

ニューミルフードA

ミルフードB

カーフミール

●従来のミルフードAは在庫品のなくなりしだいに、ニューミルフードAに替ります。

「ニューミルフードA」の改良点

●配合割合

(1)脱粉を約5%増加させた。

(2)穀類(きな粉・小麦粉)の使用中止

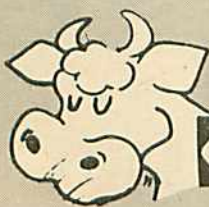
(3)炭カル・リンカル等不溶物の使用を中止し溶解性の良い乳酸カルシウムを使用した。

●乳酸カルシウムの使

用により仔牛の胃内でのレンニンの凝乳効果を促進し、腸での消化酵素による消化に良い影響を与える。

●色調は従来の「ミルフードA」に比べ白色味が強くなった。

経済的で安心して使える
品質本位の



くみあい配合飼料

申込は中標津農協営農資材課 TEL ②3275

組合員のための農協論

農協の組織的性格

をどう考えるか

農協の組合員の経済的性格の分化と、それに対応する農協の事業活動の多様化に伴って農協の組織的性格が変化しつつあることは否定できない。

組合員のなかでは、所得面において農業にわずかしが依存しない組合員がしだいに多数派を占めるようになってきており、それに伴って農協の事業活動のなかでの非農業面活動―生活面活動、組合員あるいは准組合員の農外事業のための諸活動―の比重が増大してきている。とくに、いわゆる都市農協のなかには、農業協同組合という名称のふさわしくない農協も数多く現われている。

な農協組織の現状にかんがみて、これからの農協の組織的性格はどのようなものであるかを明確にしなくてはならない。

組合員のなかでは、所得面において農業にわずかしが依存しない組合員がしだいに多数派を占めるようになってきており、それに伴って農協の事業活動のなかでの非農業面活動―生活面活動、組合員あるいは准組合員の農外事業のための諸活動―の比重が増大してきている。とくに、いわゆる都市農協のなかには、農業協同組合という名称のふさわしくない農協も数多く現われている。

よりもその対立のほうが大きくなれば、組合員相互の連帯感も薄れ、協同組合はその組織存立の基盤を失うであろう。たとえ基盤崩壊にまで至らなくても、それによる組織力の低下は農協の競争力、対抗力を弱めるであろう。いわゆる地域組合については、この点の検討がとくに重要である。

もつとも、組合員の経済的性格の同質性ないし利害の共通性は、組合の行なう事業活動―機能と密接に結びついている。たとえば、生活面活動については、専業農家も兼業農家もさらに非農家も、ほぼ共通した利害関心と期待とをもっているであろう。しかし農業面活動については、彼らのあいだに必ずしも利害の一致はみられない。さらにいわゆる企業的農家のみに

もつとも、組合員の経済的性格の同質性ないし利害の共通性は、組合の行なう事業活動―機能と密接に結びついている。たとえば、生活面活動については、専業農家も兼業農家もさらに非農家も、ほぼ共通した利害関心と期待とをもっているであろう。しかし農業面活動については、彼らのあいだに必ずしも利害の一致はみられない。さらにいわゆる企業的農家のみに

てゆくのかを、そのプロセスをもちめて考察するのでなくてはならない。

もちろん農協制度については、それが多くの点で実態とのあいだの矛盾を生じてきていることは明らかであって、その改編の方向も併せて検討されなくてはならない。

わかれれば、白紙のうえに農協の未来像をえがくのではない。制度的・歴史的に規定されている現在の農協(総合農協)を前提として、それが今後どのように変わつ

異常天候に備えて 牛乳袋 (ビニール) を

生乳係

今年も例年になく寒波・風雪と見舞れ、生産物の管理・出荷に御苦勞されていることと推察いたします。

今後も降雪が予想されますので非常時に備えてビニール袋を用意して下さい。

一枚約二〇kgの牛乳が入り、三十五円でストアー生産資材店舗においてありますのでお求め下さい。

昭和 年度 月分作業記録表

作業名	稼 動			主原料消費量		備 考
	時間	面積	摘要	免税軽油	課税軽油	
	時分	アル		ℓ	ℓ	住所
						氏名
						車輛運転者
						車輛形式
						注意
						○摘要欄には回数等を記入する。
						○運転日誌を各月ごとに集計し、翌月10日までに農協に報告する事。
						○延時間、延面積を記入する事。
区 分	前月末残	仕入数量	消費数量	今月末残	備 考	
免税軽油	ℓ	ℓ	ℓ	ℓ		
課税軽油	ℓ	ℓ	ℓ	ℓ		

免税軽油の

取扱について

先般、管内の免税軽油取扱説明会があり、五十一年度の免税軽油監査報告と五十二年度の取扱についての説明が行なわれました。

監査報告の中で、免税軽油使用者の、課税軽油の使用状況と、運転日誌、並びに月別作業記録表等について指適を受けました。

農業・林業・船舶等機械の動力源に使用される軽油は、道路運行に直接関連が無く

いため免税となりますが、トラクタ等農業機械であっても、道路を運行する場合には必ず、課税軽油を使用しなくてはなりません。

課税軽油の使用については移動、住宅周辺の環境整備、道路運行等の農作業以外で、免税軽油交付量の、一割～二割程度の課税軽油を使用することになります。

免税軽油使用者には運転日誌、月別作業記録表の記帳、提出が義務づけられていますので、五十二年免税軽油交付申請と併せて月別作業記録表を提出していただきます。

月別作業記録表の提出されない方は免税軽油の交付を受けられなくなり、本年度から月別作業記録表の提出については、毎月

の使用分を翌月十日までに、農協の免税軽油担当者まで次の様式により必ず報告されるように願います。

担当は、月別作業記録表に基づき支庁宛、まとめて使用報告をいたしますので期日を厳守されるようお願い申し上げます。

五十二年の免税軽油使用状況

中標津農協

免税軽油数量 七二二、九三〇ℓ

免税額 一三、九〇二、一三五円

使用戸数 三四〇戸

一戸当り 四〇、八八八円

免税軽油担当 営農資料課

長沼憲富

2月18日現在 ホクレン相場

品 目	規 格		価格(kg当り)	摘 要
初生	血清用 30 kg 以上	生体	300円	2月1日より
生	加工用 生後1～2週間	枝	430円	
続	哺育用 47 kg 以上	生体	420円	
肉用素牛オス	200～250 kg	生体	440～450円	府県渡し価格
"	251～300	"	460～470	
"	301～350	"	470～490	
"	351～400	"	510～520	
"	400～	"	520～	
肉用素牛メス	200～250	"	470～480	"
"	251～300	"	490～500	
"	301～350	"	530～550	
"	351～400	"	560～580	
"	400～	"	580～	
廢用牛	ガリ物	枝	600～650	"
"	中パ	"	750～800	
初妊牛	血統登録	一頭	400～	"
"	系種登録	"	360～	

畜肉情報

畜産課

●枝肉

今のところ横ばいで推移していますが、資源不足、需要増の傾向なので上物は上向きに、スソ物は輸入肉の入り方で横ばいか、や、弱気配になるでしょう。

●素牛

前回の情報同様、三月は決算期でもありませんので荷動きがぶくぶくなり相場もバツとしないでしょう。しかし、畜産物安定基準価格の決

●乳牛

逐次、府県からの購買が入りますが今のところ根室管内での資源の資質が悪く、対象になるものが非常に少なくなっています。秋に選抜して残した牛ですから冬から春への飼養管理には充分留意し、価値を高めて販売しましょう。相場は横ばいの見通しです。

り方次第では、四月以降や、強くなる見込みです。メスの素牛についても資源不足もあって強気配に推移するでしょう。

ウェファー〈固形乾牧草〉 の申込みは早目に

基盤整備係

根室税務署だより

◎ 青色申告のおすすめ

所得税は、自分で所得や税額を計算して申告し、納税する申告納税制度をとっています。

そこで、毎日の取引を帳簿につけ、その帳簿に基づいて正確に所得や税額を申告する人には、所得の計算の面などで、いろいろ有利な取り扱いをすることになっています。

これが、青色申告制度です。

青色申告をすると、税金の面で有利となるだけでなく、帳簿をつけることによって、経営の内容がよくわかり、経営の合理化にも役立ちます。

また、青色申告をしていない人のために、青色申告の特典や手続きなどについて説明しましょう。

▲青色申告の特典

特典は、四十四ありますが、そ

のなかで、一般的なものとしては次のようなものがあります。

一、青色申告控除

青色申告をしている人は、十万円を限度として所得金額から特別に控除されます。

二、青色専従者給与

青色申告者と生計をいっしょにし、もっぱら事業に従事している親族に支払った給与は、必要経費になります。

▲青色申告の手続き

新しく青色申告をしようとする

人は、その年の三月十五日（その年の一月十六日以後

に開業した人は、

開業の日から二ヶ月以内）までに「青色申告承認申請書」を税務署に提出してください。

▲記帳などの相談
帳簿のつけかたや決算のしかたなどがわからないときには、気軽に税務署で御相談ください。

なお、商工会議

所、市町村の商工会、青色申告会などでも指導をしていますから御利用ください。

テーマ●青色申告のおすすめ



3月・4月

天気予報

札幌管区气象台

月別予報

三月 前半は大陸の高気圧が時々強まり寒さのもどりがあ

り、その年の三月十五日（その年の一月十六日以後に開業した人は、開業の日から二ヶ月以内）までに「青色申告承認申請書」を税務署に提出してください。

後半はやや高くなり平均では並み、降水量は西部では並み、東部では並み、少ないしやや少ない。

概況 三月は大陸の高気圧が強まり寒さのもどりがあ

よう。日本海側や北部では雪が降りやすい見込みです。後半には移動性の高気圧が現われやすく、比較的温暖な期間もあります。日本海で発達する低気圧が見込まれ全道的に荒れる日があります。

四月 移動性高気圧と気圧の谷が交互に通ります。春らしい日が多くなる見込みですが、月末には寒冷な高気圧におおわれて気温の下がる日があります。

平均気温は並み、やや高く、降水量はやや少ない。

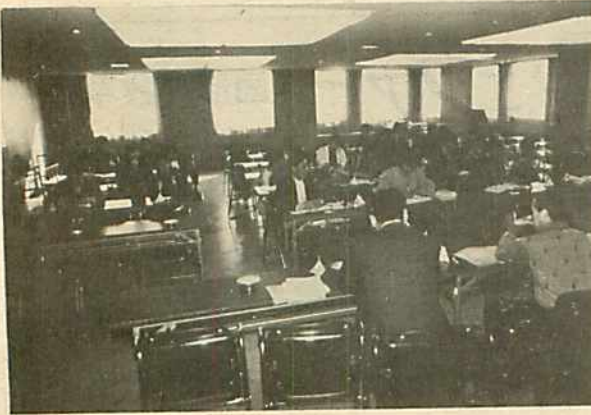
四月 移動性高気圧と気圧の谷が交互に通ります。春らしい日が多くなる見込みですが、月末には寒冷な高気圧におおわれて気温の下がる日があります。

平均気温は並み、やや高く、降水量はやや少ない。

平均気温は並み、やや高く、降水量はやや少ない。

青年部たより

農協役員と
青年部員の
意見交換会開く



農協理事者と懇談する青年部員

例年恒例となつてい
る、青年部員と農協役
員の意見交換会が、二
月七日、農協大会議室
を開場に行なわれた。

農協役員は、組合長
以下九名の理事が出席、
青年部員約四十名と終
了予定時間を過ぎるま
で、様々な事について
話し合った。

今回は、昨年発足し、
活動を始めた専門部会
の中から、活動を通じ
の話し合いの中で出て来
た疑問や、意見を、各
部会の代表者がまとめ
て話題提起し、それら
について、理事や青
年部員が意見を述べ合
う形を取つたので、進
行が非常にスムーズに
行なえた。

以下、各部会からの
意見を、極く簡単に、
記して行きたい。

◆土壌肥料部会 乾 雅晴

昨年末、普及所の協力で、部会
員の土壌分析を行つたけれども、
牧草等の成長に一番重要な役割を
果たすカリの分析が出来ない。ま
た建物も冬期間の作業には非常に
困難なようなもので、組合員全戸
の土壌診断を行うには、非常に不
備な状態だけれども、農協や町が
中心になつて、分析センターを作
れないだろうか、また分析の結果、
ほとんどの畑で、カルシウム、マ
グネシウムが不足しているが、炭
カルや、榕糞に対する助成や、手
数料の減免、或は今より安く取る
方法などは取れないだろうか。(一
手数料については、炭カルのみ、
現在全廃されている)

◆畑作部会 真島正義

肥料の早取りについて、現状で
は、その年使つた肥料の結果を見
ないうちに、注文、配送となつて
しまうが、結果の解る収穫期以降
に出来ないものだろうか、また、
所有のトラックを生かす為にも、
希望者は、直接運搬出来ないだろ
うか。

共同ほ場を持つて、種々の試験
を行っているが、各種肥料や、新
しい農業等の試験について、農協

の協力を願いたい。

馬鈴薯について、現在一俵に
き一、五kgの入れ目が有るが、こ
の入れ目のあるのは我農協だけで
他の農協にはみられない、これは
なぜか。

◆経営部会 中林忠雄

活動報告のみで、特になし。

◆農政部会 福島昭憲

共同仕入れについて、農機具に
しろ、部品にしろ、組合員に知ら
れていない面が多いのではないか。
第三次酪農近代化計画について、
各町村毎の目標が出たが、その実
現性と、農協の対応は。

◆乳牛部会 佐々木昭雄

輸入牛の導入後の経過と、今後
導入の計画は？
新乳検の推進計画と、農協の対
応は、？

◆その他意見 副部長

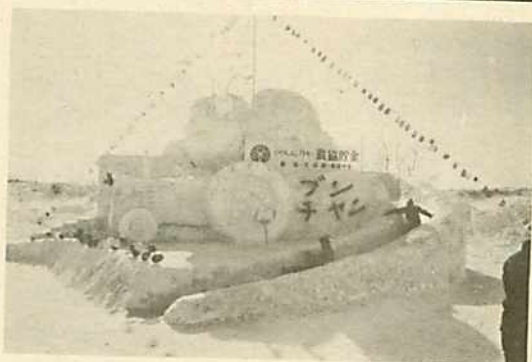
家畜消流の実績とその先や、
消流センターの経費調達方法につ
いて。

以上、代表者が述べた意見や、
質問について、それぞれ、理事さ
ん達から答えがあり、またそれに
対して部員からの意見が有る。な
ど、かなり活発な交換会であつた
と自画自賛していますが、この話
し合いの中で、特に理事者から強
張された事を記して置きたいと思
います。その第一は、今よりも、
もっと機械の共同購入の成果を上
げる為に、農機具の統一購置をみ
んなで考えるべきだということ。
もう一つは、消流の關係で、登録
のない牛が未だ六割もあり、府県
からの購置が入つても有利に売れ
ない。基礎登録だけでも、今より
もつともっと有利な個体販売が出
来るので、青年部を中心に、登録
をする運動を起して欲しい。の二
点だつたように感じました。農協
を知り、青年部活動を行う上に貴
重な話を聞くことの出来た二日
です。今後とも、出来るだけ機会を
捕えて、このような場を設けて行
きたいものと考えています。その
時はまた、沢山の部員の参加を期
待して記事とします。

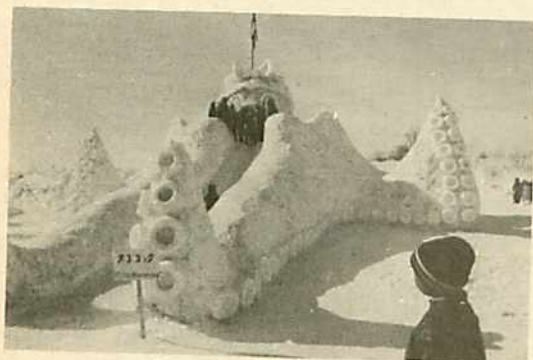
第2回 中標津町冬まつり雪像コンテスト



夢のデイズニールランド
(株式会社丸五)



ブンチャン (中標津農協)



タココング (中標津消防団)



キングコング (中標津青年連盟)



謎のクッシー (最能建設KK)



宝舟 (広木建設KK)



ぬいぐるみも登場
子供達の人気を集める。



ロボzziビートン
(中標津電報電話局)

組合員名	上旬	中旬	下旬	組合員名	上旬	中旬	下旬	組合員名	上旬	中旬	下旬	組合員名	上旬	中旬	下旬
バ 藤原勝一	0	0	0	バ 山崎 翠	1	0	1	バ 八木原明治郎	0	0	1				
バ 秋山実太	0	0	0	バ 藤田貞蔵	1	0	0	バ 中浦健夫	0	0	0				
バ 佐藤春行	0	1	1	バ 藤田誠一	1	1	0	バ 前原秀隆	0	0	1				
バ 佐藤一二	0	0	0	バ 剣持幸男	0	0	0	バ 町田芳照	1	1	0				
バ 清原由太郎	0	0	0	バ 遠藤与畏二	0	0	1	バ 房川喜清	0	0	0				
バ 湯山 稔	1	0	1	バ 宮田正晴	0	0	1	バ 宮脇正治	1	0	0				
バ 湯山幸男	0	1	1	バ 鷺見孝男	0	0	0	バ 滝本信孝	1	1	2				
バ 三宅 要	0	0	0	バ 真部 愈	0	0	0	バ 富沢保男	0	0	0				
バ 門馬四郎	0	0	0	バ 渡辺利秋	0	1	0	バ 谷村茂夫	1	0	1				
バ 中塚文夫	0	1	0	バ 田代良司	1	0	0	バ 武田三郎	0	0	0				
バ 石原竜雄	0	1	0	バ 相沢武雄	0	0	0	バ 藤井弘美	0	0	0				
バ 西井 武	0	1	2	バ 太田俊昌	0	0	0	バ 北村一仁	0	1	1				
バ 土井上友一	0	0	0	バ 古瀬敏弘	0	0	1	バ 杉本匡視	0	0	0				
バ 土井上政雄	1	1	1	バ 小谷盛一	0	0	0	バ 佐藤載康	0	1	1				
バ 小沼佐太男	0	0	0	バ 秋山政雄	0	0	0	バ 松本金市	0	0	0				
バ 熊谷 正	0	0	0	バ 斉藤富吉	1	1	1	バ 飲野一郎	1	1	0				
バ 山本雪信	1	1	1	バ 広瀬定夫	0	0	1	バ 横田国雄	1	1	1				
バ 真野米光	1	1	1	バ 半沢勇雄	1	1	1	バ 竹下日吉	1	1	1				
バ 寺島今朝松	1	0	1	バ 笠原良夫	0	0	0	バ 柳田治郎	1	1	1				
バ 佐藤憲治	1	1	2	バ 武田伊三郎	1	1	0	バ 青木喜三	0	0	0				
バ 佐藤忠男	0	0	0	バ 後木 章	2	1	1	バ 青木重次	1	0	1				
バ 佐藤和夫	2	1	2	バ 久保花次郎	0	0	0	バ 関又左工門	0	1	1				
バ 塩田専治	3	1	3	バ 松本豊治	2	1	1	バ 横田好一	0	1	1				
バ 五十嵐徳次	0	0	0	バ 新井 真	0	1	0								
バ 田中清司	1	0	1	バ 片野 博	1	1	1								
バ 山本秀夫	0	0	1	第二俣落地区											
バ 安達武蔵	0	0	0	バ 西村徳守	0	0	0								
バ 志賀安尾	0	0	0	バ 保科 清	1	1	1								
バ 志賀正治	0	0	1	バ 松岡喜代之助	1	0	0								
バ 篠永鉄雄	0	0	0	バ 田代 昭	1	1	2								
俣落地区				バ 井ノ口定則	1	1	1								
バ 原 藤子	0	0	0	バ 安江八五郎	1	0	2								
コ 大木敏夫	1	1	1	バ 剣持広昭	0	0	0								
コ 小林金司	0	0	2	バ 斉藤 別	1	1	0								
バ 板橋松寿	0	0	0	コ 白石孝治	2	2	2								
バ 岩井 昇	0	1	1	バ 山口広幸	0	1	1								
バ 服部一好	0	1	1	バ 沖 一美	1	1	1								
バ 遠藤太一	1	0	0	バ 片岡宅次	0	0	0								
バ 遠藤幸吉	0	0	0	バ 弾正原正春	0	2	1								
バ 高橋正三	1	0	1	バ 国光 昭	0	0	0								
バ 松村晴由	0	1	0	バ 遠藤直行	0	0	0								
バ 小山美芳	0	0	0	バ 佐伯 征次	0	0	0								
バ 本村正春	0	0	0	バ 来栖 寛	0	0	0								
バ 菅原 清	0	0	0	バ 川村清身	0	1	0								
バ 上村太平	0	0	1	バ 加藤 繁	1	1	1								
バ 上村政則	0	0	0	バ 萩原蝶七	1	0	1								
バ 上村 力	0	1	0	バ 星野昇司	1	1	1								
バ 松本 勇	0	0	0	バ 星野盛恵	2	1	0								
バ 藤原信男	0	0	1	バ 滝本勇雄	1	0	0								
バ 遠藤忠義	1	1	1	バ 滝ヶ平初美	0	0	0								
バ 山下鉄男	1	1	1	バ 滝ヶ平 茂	0	0	0								
バ 阿部幸一	1	0	1	バ 滝ヶ平效夫	1	0	1								
バ 上ヶ島春雄	0	0	1	バ 内山 勲	0	0	0								

旬別個乳検査成績(ランク別戸数)

ランク別旬	0	1	2	3	4	5	合計
上旬	195	110	9	2	0	0	316
中旬	197	108	10	1	0	0	316
下旬	178	119	18	1	0	0	316
合計	570	337	37	4	0	0	948
合格率	60.1	35.6	3.9	0.4	0	0	100

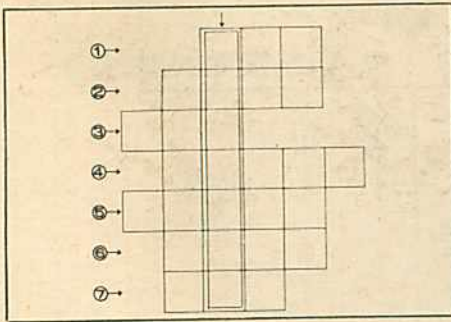
地区別個乳合格率

地区旬	当幌	中標津	俣橋	開陽	武佐	第二俣落	俣落	平均
上旬	100	98.0	100	100	98.3	100	100	99.4
中旬	96.7	100	100	100	100	100	100	99.7
下旬	100	100	100	100	98.3	100	100	99.7
月平均	98.9	99.3	100	100	98.9	100	100	99.6

2 月 乳 質 検 査 成 績 表

中 標 津 農 業 協 同 組 合

組合員名				組合員名				組合員名				組合員名			
上旬	中旬	下旬		上旬	中旬	下旬		上旬	中旬	下旬		上旬	中旬	下旬	
当 幌 地 区				高藤 祐 蔵	0	1	1	高橋 一 男	0	0	2	大西 英 明	0	0	0
飯島 光五郎	0	0	0	連田 弘	1	1	1	高平 幸 夫	0	0	0	福島 昭 憲	0	1	0
飯島 清 一	0	0	0	永谷 雄 幸	0	0	1	中本 要 次郎	1	1	1	下川 原 秀 子	0	1	0
奥田 勝 佳	1	1	0	長 繩 弘	0	1	0	半沢 か ね	0	0	0	三 輪 貞 夫	0	0	0
奥田 岩 男	0	0	0	麻 郷 地 忠	1	1	0	国 見 正 雪	0	0	0	西 山 一 義	0	0	1
中山 安 寿	1	0	0	麻 郷 地 忠 勝	1	1	1	国 見 実	0	0	1	佐 々 木 武 雄	0	0	0
山川 健 三	0	0	1	小 針 晴 信	0	1	0	齊 藤 哲 雄	1	1	1	日 下 一 芳	0	0	0
阿部 俊 勝	1	0	0	佐 藤 吉 次	-	-	-	齊 藤 栄 七	1	1	1	石 田 春 夫	-	-	-
鈴木 吉 三	0	0	0	花 川 秀 一	0	0	1	伊 藤 七 郎	1	1	1	加 茂 正 毅	0	1	0
西垣 信 男	1	1	1	古 沢 亀 治	0	0	0	千 葉 清 一	1	0	1	佐 々 木 政 行	0	0	0
小原 治	1	0	0	花 川 稔	0	0	1	村 井 直 行	0	0	0	三 友 盛 行	2	2	1
吉田 繁 行	1	3	1	今 井 秀 和	0	0	0	山 崎 正 喜	0	0	0	高 島 貞 作	1	1	0
竹村 満 夫	0	0	0	東 原 正 広	1	0	0	松 本 嘉 吉	-	-	-	福 島 信 一	1	0	0
高橋 常 次	0	1	1	岡 部 実	0	0	0	後 藤 田 信 夫	1	0	0	古 田 起 雄	1	0	0
筒井 留 雪	0	0	0	渡 辺 善 行	0	1	0	齊 須 安 雄	1	0	1	本 田 萌 夫	1	1	0
筒井 正 守	0	1	1	田 島 育 三	-	-	-	今 井 靖 清	1	1	1	中 村 敏 夫	1	0	0
室井 太 吉	0	1	1	竹 村 昇	-	-	-	山 田 良 太 郎	0	0	0	真 野 勇	0	0	0
安田 康 正	1	0	0	松 隈 健 二	1	1	0	房 川 喜 延	1	0	0	多 田 俊 夫	1	1	1
山田 一 男	0	0	1	小 林 義 忠	0	0	0	笹 淵 二 郎	0	0	1	小 岩 正 一	1	1	0
松田 昌 介	0	0	0	古 瀬 イ セ	0	0	0	井 上 亮 夫	1	1	1	伏 見 哲	0	2	1
舟田 正 明	0	0	0	藤 本 久 雄	3	0	0	笠 井 剛	0	0	0	中 川 一 平	0	0	2
菊 地 良	1	1	1	小 川 清	1	0	0	赤 堀 岩 男	1	2	1	武 佐 地 区			
遠田 斐 三	0	0	0	佐 藤 道 嘉	0	0	0	鈴 木 敏 夫	1	0	1	丹 羽 孝	0	1	1
遠山 高 蔵	0	1	1	佐 藤 末 美	1	1	0	俵 橋 地 区				丹 羽 正 明	1	1	0
長 正 路 正 義	0	0	0	佐 藤 拡	1	1	1	名 越 成 夫	1	0	1	亀 井 泉	0	0	0
大野 正 己	0	0	0	佐 藤 永 雄	0	0	0	佐 藤 清	1	0	0	中 司 哲 弥	0	0	0
吉成 は な 子	0	0	1	佐 藤 東	0	1	1	乾 守 夫	0	0	0	上 原 徳 保	0	0	0
福村 守	0	0	0	望 月 幸 男	0	0	1	乾 勝 美	1	0	0	工 藤 政 義	0	1	0
遠藤 弘 成	0	0	1	白 築 政 博	1	0	0	伊 東 武	0	0	0	舟 橋 清 高	0	0	0
笠原 金 吾	1	0	2	武 田 勇	0	1	2	大 山 富 雄	1	1	2	酒 井 清 志	0	1	0
唐崎 幸 司	1	0	0	高 橋 敏 夫	1	1	2	山 下 孝 二	0	0	1	目 黒 雅 隆	0	0	0
中 標 津 地 区				熊 倉 彦 吉	0	0	0	北 川 栄 治	0	1	1	千 葉 弘	1	1	1
綏 坂 欣 一	1	1	1	小 林 茂 雄	0	1	1	水 本 勘 蔵	0	0	0	工 藤 剛	0	0	0
綏 坂 恭 民	0	0	0	阿 部 正 六	1	1	1	水 本 一 三	0	1	0	児 島 喜 一	1	2	1
吉川 晴 久	1	0	1	佐 藤 三 男	0	0	1	山 本 正 八	1	0	1	児 玉 光 彦	0	0	0
滝 場 光 明	1	1	1	長 淵 貞 義	0	0	0	榎 田 英 雄	1	1	0	坂 口 亀 一	0	0	0
久 保 慶 一 郎	1	0	1	開 陽 地 区				穴 吹 貞 明	0	0	0	白 田 禎	0	0	0
久 我 良 夫	0	0	0	土 井 上 昭 男	0	0	1	佐 藤 正 男	0	0	0	新 谷 正 二	0	1	1
正 城 純 一	1	0	1	向 館 金 吾	0	0	1	佐 々 木 文 作	1	1	1	井 口 精 一	0	0	0
荒 昭 一	1	1	1	山 田 輝 男	2	2	2	野 口 忍	0	0	0	川 上 茂	0	0	1
桜 井 誠 造	0	0	0	船 越 政 雄	0	1	1	太 田 功	0	0	0	石 橋 喜 作	0	0	0
佐 々 木 繁 雄	0	0	0	浅 野 ト ミ 子	0	1	1	岡 次 郎	0	1	0	長 谷 川 寿	1	0	0
佐 藤 晴 信	0	0	0	吾 妻 寅 男	0	0	0	金 子 安 有	0	0	0	花 尻 武 夫	1	1	1
奥 村 武 雄	2	2	1	鈴 木 嵩	1	1	2	高 野 勇	0	1	0	中 条 由 治	0	0	0
阿 部 忠 次 郎	1	0	1	桜 井 精 治	0	0	1	中 林 勇	0	0	0	中 条 幸 作	0	0	0
三 森 章 司	0	0	0	横 田 孝 博	-	-	-	工 藤 隆 弘	1	0	1	奥 村 保 章	1	1	1
川 手 輝 雄	1	0	0	高 橋 寅 之 助	0	0	0	赤 江 右 門	0	1	1	萱 岡 信 二	0	0	0
下 山 恵 市	0	0	0	中 本 栄 太 郎	0	1	1	沢 口 正 志	1	1	1	高 橋 昌 信	0	0	0
石 崎 多 門	0	0	0	丸 田 良 夫	0	0	0	目 黒 茂	1	1	0	中 塚 秀 夫	1	1	2
林 仁 一 郎	1	0	0	鈴 木 重 蔵	0	0	0	大 西 秀 良	2	2	2	黒 田 定 利	1	2	1



貯金は農協へ

こんにちは!
農協貯金

中標津農業協同組合

(ヒント)

解き方

ヒントの絵(①-⑦)に関係のある言葉を、マス目の中に入れてから、二重ワクの七文字を上から下へ読むと、あの言葉ができます。その言葉だけをハガキに書いて送ってください。

くいず???

あなたもやってみよう

★応募規定★

- ①官製はがきに答えを書いて送って下さい。
 - ②氏名・年令・住所
 - ③対象 小・中学生
 - ④宛先 中標津町東七条南二丁目 中標津農協 組織農政係
- ※切日は三月十五日
- ※正解者十名に記念品贈呈、正解者多数のときは、抽選で決めます。
- 二月号の正解は「アイスクリーム」でした。次の十名の方に記念品を差し上げますので農協へとり来て下さい。
- 〈協和〉花川昌典君、古沢敬一君、〈東俵橋〉森島靖雄君、〈豊岡〉高橋まり子さん、〈西武佐〉星良明君、三宅英昭君、〈開陽〉高橋浩一君、〈北保落〉渡辺秋男君、〈本保〉杉本則夫君、〈高嶺〉竹下いずみさん。

暮しのアイデア

牛乳で作れる

おやつ 紹介

農繁期は忙しくて子供達のおやつも作ってやれないと思つていらっしゃる方………

農閑期を利用して手作りのおやつを作つて与えてはいかがでしょう。

●ブレッド・プリン

材料……10人分

パン角切り又はパン粉カップ2杯、熱い牛乳……カップ4杯、砂糖……カップ3杯、バター……大さじ1杯、塩……小さじ1杯、軽くといた卵……4個分、バニラ……小さじ一杯

(作り方)

- ①パンを牛乳に5分間浸し、砂糖、バター、塩を加える。
- ②軽くといた卵に①をゆつくりと注ぎ、バニラを加えてよく混ぜる。(随意にレーズン又ナッツをまか



ツブ加えてもいい)

- ③次に油をぬつた型に注ぎ、湯せんにして約一時間焼き、冷やしてホイップクリームを添えて出します。

●マジック・モルド・ケーキ

材料……10人分

小麦粉……カップ2杯、ベーキングパウダー……小さじ2杯、砂糖……カップ1杯、バター……大さじ1杯、牛乳……カップ3杯、バニラ……小さじ1杯、卵白……大2個分

(作り方)

- ①砂糖とバターをクリーム状にする。
- ②牛乳とバニラを合わせておく。
- ③小麦粉にベーキングパウダーを加える。
- ④②と③をそれぞれ3等分し、各々の量を交互に①に混ぜ合わせる。
- ⑤卵白を固く泡立て、④に加え、よく油をぬつて小麦粉をまぶした型に注ぎ入れる。50〜60分位190℃で焼く。